

(別紙 4(2))

## 目標達成計画

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護  
事業所 グループホーム みどりの郷ほんじょう  
作成日：平成 29 年 4 月 25 日

優先順位	※項目番号	現状における課題、解決すべき問題点	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		法人が掲げる基本理念は「堅実と融和、敬意」である。またホームが掲げる運営理念を「和～その人らしさを大切に、もう一人の家族となって共に寄り添う」と定め取り組みを行っているが、個人意識や技術熟達度等に差があり目標まで及んでいない。	全職員が入居者が「もう一人の家族」という意識と支援に対する責任を自覚し、技術の習得、毅然とした介護姿勢、職業人たる規範に基づく援助に努める。	・朝礼及び申送り時に理念や業務上の運営目標の唱和、業務日報での共有を徹底し意識の共通化を図る ・研修、学習会、講演会等に積極的に参加することで不断に学習を重ね意識や技術の向上を図る ・事例検討を進める過程でより良い処遇の在り方を模索し、質の向上を図る ・規則、ルールに準拠した社会人たる規範意識の醸成を図る	12 か月～ 継続
2		職員間のコミュニケーション不足が顕在し、意欲の向上につながっていない。	常にカンファレンス等において意識共有を図り、入居者に対する一致した処遇・支援を実践する。	・テーマを設定して定期的なカンファレンスを行うことで、ホームが目標する運営方針の再認識と意識づけを図っていく ・院内、院外ともに研修・勉強会等の機会を作り、職員のレベルアップを図る	12 か月～ 継続
3		入居者の活発さに欠ける。	外出の機会や活動的な場面を作り、不活発にならないよう改善を図る。	・特段のイベント等を設定するのではなく、レクリエーション、散歩や散策、中庭デッキ等を活用した憩いの環境づくり等、日常生活の中での活動的な場面を作る	12 か月～ 継続
4					

1 目標達成計画は、現状認識の共有と課題や問題点の把握、事業所のステップアップへ向けての取り組む目標の設定です。たくさん掲げることで焦点がぼやけないようスタッフ相互で話し合い、直近に優先して取り組むべき具体的な計画を記入してください。

2 ※は記入しないでください。